

10月18日、本番2日前には柏原海岸にて射手と馬を清める潮がけが行われました。四十九所神社から柏原海岸までの道のりでは住民の方が今年の射手を一目見ようと応援に、波野小学校前では子供たちが紅くんに「がんばれー!」と声をかけていました。潮がけの神事では紅くんのクラスメイトも駆けつけ、みんなで大役を務める紅くんの安全を祈願しました。



10月20日、いよいよ迎えた本番の日。「あまり緊張はしていない。練習通りやれば大丈夫だと思えます。」と神事に向けて準備をする紅くんの姿からは自信が感じられました。一緒に練習期間を過ごしてきた後射手の大園悠馬くんも「紅くんなら大丈夫だ。」と先輩としてエールを送りました。



そして始まった流鏝馬奉納。1走目の最後に馬の勢いがつきすぎて落馬し、足を打ってしまいました。周りが心配する中、紅くんは足の痛みを感じさせずに2走目、3走目へ臨み、令和初の流鏝馬奉納は9本中7本の内、内2本が籠矢(的の中心を射抜いた矢)という結果で締めくくりました。

「落馬してしまっただ後は、次は絶対に落ちないぞと思いつながらやりました。」と語る紅くんは、射手という大役を終えた安堵感から、いつもの中学2年生の表情に戻っていました。



写真提供：石川徳美